



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月2日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 紀彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 千葉 昌 TEL (03) 3231-6811
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	37,633	9.2	3,903	△19.2	4,059	△18.7	2,479	△13.1
23年3月期第3四半期	34,473	4.2	4,828	△14.8	4,989	△14.9	2,852	△14.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	87 62	—
23年3月期第3四半期	100 78	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	86,100	75,604	87.8
23年3月期	84,885	74,246	87.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 75,604百万円 23年3月期 74,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	20 00	—	20 00	40 00
24年3月期	—	20 00	—		
24年3月期(予想)				20 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,800	7.6	4,200	127.7	4,300	113.3	2,600	177.4	91 87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期3Q	28,800,000株	23年3月期	28,800,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	498,644株	23年3月期	498,302株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	28,301,637株	23年3月期3Q	28,302,234株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは平成24年1月31日付で終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

◇ 薬事法その他の法令または規制の変化

◇ 薬価の改定

◇ 副作用の発現

◇ 研究開発の遅延または中止

◇ 製商品の供給停止

◇ 訴訟の提起

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(4) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 研究開発活動	2
(4) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
【第3四半期累計期間】	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

※ 当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の売上高は、37,633百万円と前年同期に比べ3,160百万円(9.2%)増加しました。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」は7,360百万円と前年同期に比べ2,018百万円(37.8%)増加したほか、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」は7,515百万円と前年同期に比べ1,367百万円(22.2%)増加しました。一方、「注射用フサン(蛋白分解酵素阻害剤)」は4,126百万円と前年同期に比べ471百万円(10.3%)減少しました。

費用面におきましては、売上原価は15,611百万円と前年同期に比べ1,640百万円(11.7%)増加し、販売費及び一般管理費は研究開発費が増加したこと等により18,118百万円と前年同期に比べ2,444百万円(15.6%)増加しました。

以上の結果、営業利益は3,903百万円と前年同期に比べ924百万円(19.2%)減少し、経常利益は4,059百万円と前年同期に比べ930百万円(18.7%)減少しました。特別利益に共同開発解消に伴う受取返戻金784百万円を計上したものの、四半期純利益につきましては2,479百万円と前年同期に比べ372百万円(13.1%)減少しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は、86,100百万円と前事業年度末に比べ1,214百万円(1.4%)増加しました。これは、有価証券は8,276百万円、キャッシュ・マネージメント・システム預託金は5,191百万円減少しましたが、現金及び預金が9,028百万円、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が2,723百万円、受取手形及び売掛金が2,191百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、10,495百万円と前事業年度末に比べ144百万円(1.4%)減少しました。これは、買掛金は968百万円増加しましたが、流動負債のその他に含まれる未払金が606百万円、賞与引当金が543百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、75,604百万円と前事業年度末に比べ1,358百万円(1.8%)増加しました。これは、主に利益剰余金が1,347百万円増加したことによるものです。

(3) 研究開発活動

当第3四半期累計期間の研究開発費の総額は3,580百万円であります。

なお、東レ株式会社と日本たばこ産業株式会社および当社で行ってございました「レミッチカプセル」の慢性肝疾患に伴う難治性そう痒症を新たな適応症とする共同開発を解消し、当社における本開発を中止しました。

(4) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績を踏まえ、前回発表(平成23年12月22日「業績予想の修正に関するお知らせ」)の当該予想数値を修正しております。

売上高は、医薬品の販売状況が概ね計画どおりに推移していることから前回発表予想を変更しておりませんが、利益面におきましては、研究開発費の一部が次期に発生する見込みとなったため、営業利益及び経常利益は前回発表予想を上回る見通しとなりました。当期純利益につきましては、改正法人税法及び復興財源確保法が公布されたことに伴う税率変更の影響等により前回発表予想を下回る見通しとなりました。

現時点における通期の業績予想数値は、売上高は488億円(前回予想のとおり)、営業利益は42億円(対前回予想13.5%増)、経常利益は43億円(対前回予想13.2%増)、当期純利益は26億円(対前回予想7.1%減)を見込んでおります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,773	20,802
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	12,071	6,879
受取手形及び売掛金	18,435	20,626
有価証券	19,580	11,303
商品及び製品	3,332	3,715
仕掛品	358	463
原材料及び貯蔵品	1,685	1,539
その他	1,326	2,304
流動資産合計	68,563	67,634
固定資産		
有形固定資産	5,671	5,329
無形固定資産	683	680
投資その他の資産	9,968	12,454
固定資産合計	16,322	18,465
資産合計	84,885	86,100
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,816	4,785
未払法人税等	1,050	1,244
賞与引当金	1,158	615
役員賞与引当金	50	44
返品調整引当金	3	2
その他	3,532	3,033
流動負債合計	9,612	9,726
固定負債		
退職給付引当金	507	256
その他	520	512
固定負債合計	1,027	768
負債合計	10,639	10,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	63,397	64,744
自己株式	△857	△857
株主資本合計	74,146	75,493
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	100	111
評価・換算差額等合計	100	111
純資産合計	74,246	75,604
負債純資産合計	84,885	86,100

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	34,473	37,633
売上原価	13,970	15,611
売上総利益	20,502	22,022
販売費及び一般管理費		
販売促進費	2,739	3,093
給料及び手当	4,323	4,422
賞与引当金繰入額	504	481
研究開発費	1,653	3,580
その他	6,452	6,540
販売費及び一般管理費合計	15,673	18,118
営業利益	4,828	3,903
営業外収益		
受取利息	106	87
受取配当金	23	21
為替差益	2	10
その他	46	37
営業外収益合計	178	157
営業外費用		
支払利息	1	0
その他	16	1
営業外費用合計	17	2
経常利益	4,989	4,059
特別利益		
投資有価証券売却益	—	14
受取保険金	—	1
受取戻戻金	—	784
特別利益合計	—	800
特別損失		
固定資産除却損	10	4
投資有価証券売却損	1	23
災害による損失	—	63
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	143	—
特別損失合計	155	91
税引前四半期純利益	4,834	4,768
法人税等	1,982	2,288
四半期純利益	2,852	2,479

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期会計期間(自平成23年10月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。



2012年3月期 第3四半期決算 参考資料

I. 主な経営指標等の推移		III. 財政の状況	
1. 経営成績P. 1	四半期貸借対照表P. 5
2. 財政状態P. 1	IV. 設備投資の状況P. 6
II. 損益の状況		V. 非資金項目P. 6
1. 四半期損益計算書P. 2	【予想数値に関する注意事項】P. 6
2. 製商品売上高P. 3		
3. 売上原価P. 4		
4. 研究開発費P. 4		

※ 本資料の数字は、百万円未満を切捨てて表示しております。

2012年2月2日

I. 主な経営指標等の推移

1. 経営成績

	2011年3月期				2012年3月期		2012年3月期予想 ※	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第3四半期	対前年同期増減(率: %)	対前期増減(率: %)	
	(累計)	(累計)	(累計)	(累計)	(累計)			
売上高	11,378	22,441	34,473	45,335	37,633	3,160 (9.2)	48,800	3,464 (7.6)
営業利益	1,802	3,066	4,828	1,844	3,903	△924 (△19.2)	4,200	2,355 (127.7)
経常利益	1,865	3,161	4,989	2,015	4,059	△930 (△18.7)	4,300	2,284 (113.3)
四半期(当期)純利益	970	1,747	2,852	937	2,479	△372 (△13.1)	2,600	1,662 (177.4)
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	34.27	61.74	100.78	33.11	87.62	△13.16 (△13.1)	91.87	58.76 (177.5)
自己資本四半期(当期)純利益率 (%)	1.3	2.3	3.8	1.3	3.3	△0.5	—	—
総資産経常利益率 (%)	2.2	3.7	5.8	2.4	4.7	△1.1	—	—
売上高営業利益率 (%)	15.8	13.7	14.0	4.1	10.4	△3.6	—	—

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



経常利益 (億円)



四半期(当期)純利益 (億円)



2. 財政状態

	2011年3月期				2012年3月期		2012年3月期予想 ※	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第3四半期	対前期末増減(率: %)	対前期増減(率: %)	
	(累計)	(累計)	(累計)	(累計)	(累計)			
総資産	83,912	85,813	85,997	84,885	86,100	1,214 (1.4)	—	—
純資産	74,957	75,717	76,216	74,246	75,604	1,358 (1.8)	—	—
自己資本比率 (%)	89.3	88.2	88.6	87.5	87.8	0.3	—	—
1株当たり純資産 (円)	2,648.47	2,675.34	2,692.99	2,623.38	2,671.43	48.05 (1.8)	—	—

※ 2012年3月期予想につきましては、2011年12月22日公表の予想数値を修正しております。

Ⅱ. 損益の状況

1. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	2011年3月期 第3四半期 (累計)	2012年3月期		2011年 3月期	主な増減要因
		第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)		
売上高	34,473	37,633	3,160 (9.2)	45,335	【製商品売上高】 《増加要因》・レミッチカプセル、ツルバダ配合錠の増加 《減少要因》・注射用フサンの減少
製商品売上高	34,290	37,461	3,171 (9.3)	45,094	
不動産賃貸収入	183	171	△ 11 (△ 6.5)	240	
売上原価	13,970	15,611	1,640 (11.7)	18,602	【製商品売上原価】 《増加要因》・売上高の増加
製商品売上原価	13,908	15,562	1,653 (11.9)	18,521	
不動産賃貸原価	61	48	△ 13 (△ 21.5)	81	
売上総利益	20,502	22,022	1,519 (7.4)	26,732	【販売費及び一般管理費】 《増加要因》・研究開発費の増加
販売費及び一般管理費	15,673	18,118	2,444 (15.6)	24,887	
営業利益	4,828	3,903	△ 924 (△ 19.2)	1,844	
営業外収益	178	157	△ 20 (△ 11.7)	210	
営業外費用	17	2	△ 15 (△ 87.5)	39	
経常利益	4,989	4,059	△ 930 (△ 18.7)	2,015	【特別利益】 《増加要因》・共同開発費負担額の返戻金受取
特別利益	—	800	800 —	2	
特別損失	155	91	△ 63 (△ 41.0)	178	【特別損失】 《減少要因》・前期：資産除去債務会計基準の適用に伴う影響
税引前四半期(当期)純利益	4,834	4,768	△ 66 (△ 1.4)	1,839	【法人税等】 《増加要因》・税率変更による影響
法人税等	1,982	2,288	306 (15.5)	901	
四半期(当期)純利益	2,852	2,479	△ 372 (△ 13.1)	937	

2. 製商品売上高

(単位：百万円)

(単位：百万円)

品名	2011年3月期 第3四半期 (累計)	第3四半期 (累計)	2012年3月期		2011年 3月期	2012年3月期予想	
			対前年同期増減(率：%)			対前期増減(率：%)	
ツルバダ配合錠	抗ウイルス化学療法剤 〔抗HIV薬〕	6,147	7,515	1,367 (22.2)	8,252	9,930	1,677 (20.3)
レミッチカプセル	経口そう痒症改善剤	5,342	7,360	2,018 (37.8)	7,366	9,930	2,563 (34.8)
アンテベート ※1	外用副腎皮質ホルモン剤	4,728	5,070	341 (7.2)	6,247	6,520	272 (4.4)
注射用フサン ※1	蛋白分解酵素阻害剤	4,598	4,126	△ 471 (△ 10.3)	5,829	5,110	△ 719 (△ 12.3)
ユリノーム錠 ※1	尿酸排泄薬 〔高尿酸血症治療剤〕	2,649	2,561	△ 88 (△ 3.3)	3,425	3,250	△ 175 (△ 5.1)
ドボネックス軟膏	尋常性乾癬治療剤	1,332	1,385	52 (4.0)	1,749	1,800	50 (2.9)
ピオスリー	活性生菌製剤 〔整腸剤〕	1,195	1,301	105 (8.9)	1,593	1,660	66 (4.2)
ゼフナート	抗真菌薬	1,163	1,195	32 (2.8)	1,387	1,420	32 (2.4)
ケイキサレート ※1 ※2	高カリウム血症改善剤	673	1,136	462 (68.7)	959	1,510	550 (57.4)
セロトーン	5-HT ₃ アンタゴニスト(制吐剤)	1,493	1,035	△ 458 (△ 30.7)	1,846	1,240	△ 606 (△ 32.9)
ロコイド ※1	外用副腎皮質ホルモン剤	989	1,033	44 (4.4)	1,315	1,330	14 (1.1)
マグセント注	切迫早産における子宮収縮抑制剤	926	950	24 (2.6)	1,174	1,210	35 (3.0)
ウブレチド錠 ※1	コリンエステラーゼ阻害薬	808	796	△ 12 (△ 1.6)	1,049	1,010	△ 39 (△ 3.7)
その他		2,239	1,992	△ 246 (△ 11.0)	2,898	2,660	△ 238 (△ 8.2)
計		34,290	37,461	3,171 (9.3)	45,094	48,580	3,485 (7.7)

※1 自社品

※2 2011年2月から「ケイキサレート散」の新しい剤形として開発した「ケイキサレートドライシロップ」の販売を開始しております。

【参考】	自 社 品 売 上 高	15,228	15,469	240 (1.6)	19,865	19,740	△ 125 (△ 0.6)
	自 社 品 比 率 (%)	44.4	41.3	△ 3.1	44.1	40.6	△ 3.5

3. 売上原価

(単位：百万円)

	2011年3月期 第3四半期 (累計)	第3四半期 (累計)	2012年3月期	
			対前年同期増減(率：%)	
売上高	34,473	37,633	3,160	(9.2)
売上原価	13,970	15,611	1,640	(11.7)
売上原価率(%)	40.5	41.5	1.0	—

(単位：百万円)

2011年 3月期		2012年3月期予想	
		対前期増減(率：%)	
45,335	48,800	3,464	(7.6)
18,602	20,600	1,997	(10.7)
41.0	42.2	1.2	—

4. 研究開発費

(単位：百万円)

	2011年3月期 第3四半期 (累計)	第3四半期 (累計)	2012年3月期	
			対前年同期増減(率：%)	
研究開発費	1,653	3,580	1,927	(116.5)

(単位：百万円)

2011年 3月期		2012年3月期予想	
		対前期増減(率：%)	
5,994	4,525	△ 1,469	(△ 24.5)

【主な臨床開発品目】

開発名	予定適応症等	開発段階	備考
T0-194SL	スギ花粉アレルギーエキスをを用いた舌下投与による減感作(免疫)療法薬	国内 PhaseⅢ	自社開発
JTT-751	高リン血症治療薬	国内 PhaseⅢ	日本たばこ産業株式会社との共同開発

(注) 前回公表時(2011年10月31日)からの変更点：

TRK-820(レミッチカプセル)の慢性肝疾患に伴う難治性そう痒症を新たな適応症とする共同開発を解消し、当社における本開発を中止しました。

Ⅲ. 財政の状況

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	2011年 3月期	2012年3月期 第3四半期		2011年 3月期 第3四半期	主な増減要因
			対前期末増減(率：%)		
流動資産	68,563	67,634	△ 928 (△ 1.4)	71,369	
現金及び預金	11,773	20,802	9,028	22,092	
キャッシュ・マネージメント ・システム預託金 ※	12,071	6,879	△ 5,191	18,517	
受取手形及び売掛金	18,435	20,626	2,191	18,275	【受取手形及び売掛金】 《増加要因》・売上高の増加
有価証券	19,580	11,303	△ 8,276	6,003	【有価証券】 《減少要因》・債券の償還
たな卸資産	5,377	5,718	341	5,340	
その他	1,326	2,304	977	1,141	
固定資産	16,322	18,465	2,142 (13.1)	14,627	
有形固定資産	5,671	5,329	△ 341 (△ 6.0)	5,857	
無形固定資産	683	680	△ 2 (△ 0.4)	666	
投資その他の資産	9,968	12,454	2,486 (24.9)	8,103	【投資有価証券】 《増加要因》・債券の取得
投資有価証券	4,229	6,952	2,723	3,214	
長期前払費用	3,149	2,907	△ 241	3,309	
その他	2,589	2,594	5	1,578	
資産合計	84,885	86,100	1,214 (1.4)	85,997	
流動負債	9,612	9,726	113 (1.2)	8,667	【買掛金】 《増加要因》・商品仕入による増加
買掛金	3,816	4,785	968	4,509	
未払法人税等	1,050	1,244	194	899	
賞与引当金	1,158	615	△ 543	597	
その他	3,586	3,080	△ 505	2,660	
固定負債	1,027	768	△ 258 (△ 25.2)	1,113	
負債合計	10,639	10,495	△ 144 (△ 1.4)	9,780	
株主資本	74,146	75,493	1,347 (1.8)	76,061	
評価・換算差額等	100	111	11 (11.8)	155	
純資産合計	74,246	75,604	1,358 (1.8)	76,216	
負債純資産合計	84,885	86,100	1,214 (1.4)	85,997	

※ 「キャッシュ・マネージメント・システム預託金」は、J-Tグループにおいて国内グループ会社を対象としたキャッシュ・マネージメント・システムを統括している日本たばこ産業(株)への資金の預託であります。

IV. 設備投資の状況

	2011年3月期 第3四半期 (累計)		2012年3月期 対前年同期増減(率：%)		2011年 3月期	2012年3月期予想 対前期増減(率：%)	
	第3四半期 (累計)	第3四半期 (累計)	増減	増減(率)		2012年3月期 対前期増減(率)	増減(率)
有形固定資産※1	393	383	△ 10	(△ 2.7)	516	648	131 (25.5)
無形固定資産※2	193	165	△ 27	(△ 14.1)	280	242	△ 38 (△ 13.8)
計	586	549	△ 37	(△ 6.5)	797	890	92 (11.7)

※1 当期の有形固定資産に係る設備投資は、主に製品品質・生産性の向上を目的とする製造設備への投資であります。

※2 当期の無形固定資産に係る設備投資は、主に営業サポートシステム等、業務の効率化を目的とするソフトウェアへの投資であります。

V. 非資金項目

	2011年3月期 第3四半期 (累計)	2012年3月期 第3四半期 (累計)
減価償却費	1,037	887
長期前払費用償却費	492	498

【予想数値に関する注意事項】

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 製商品の供給停止
- ◇ 訴訟の提起